

成城大学のキャリア教育 100周年、そして未来に向けて



成城大学
キャリアセンター
主任
長尾 繁樹



1 成城学園、成城大学について

成城大学は、1950年に開設され、現在では4学部11学科から構成される人文社会科学系の総合大学である。在学生の数からすれば比較的小規模な大学だが、政治・経済・芸術・マスコミなど社会の様々な分野で活躍する多くの人材を育成してきた伝統を持った大学である。成城大学の設置母体である学校法人成城学園は、日本の近代教育に多大な貢献をした澤柳政太郎博士によって、1917年に創立された成城小学校に始まり、幼稚園から大学・大学院までを擁した総合学園に発展してきた。学園各々は建学の精神に基づいた教育を展開しているが、創立百周年（2017年）を迎えるにあたって、澤柳教育が理想とするところを再確認し、その深化・充実のための改革を進めており、キャリア教育についても、澤柳教育をベースに構築・展開している。

2 成城大学のキャリア教育について

成城大学がキャリア教育を始動させたのは平成18年度である。当時の支援部門である「就職部」の新たな事業として「キャリア教育およびキャリア支援」をパイロットケースとして導入・実施した。キャリア教育としては、正課の授業科目「全学共通教育科目」内に「キャリア形成論」を開講し、キャリア支援としては、正課外プログラム「キャリアサポートプログラム：MAP」をスタートした。

キャリア教育・支援においては、メインテーマを「就職活動」とはせず、自らの「キャリア形成」をテーマに、他者の考え、社会理解を中心に総合的

に学んでいく内容とした。

パイロットケースとして取り組んできた「キャリア教育・支援」が奏功し、平成23年度からは体系的なキャリア教育「就業力育成・認定プログラム」を始動させることに繋がり、本格的なキャリア教育へと移行した。

本学のキャリア教育「就業力育成・認定プログラム」の特徴は、①学生の成長段階に合わせた体系的なプログラム、②勤労観・職業観を育むための理論と実践の融合、③重層的で多様に展開する多角的な連携、④自ら考え行動し課題に取り組む学生提案型プログラム、⑤自己観測と外部委員による客観的な評価システム、の5点である。これらの特徴をベースとして個人の成長段階に合わせたカリキュラムで「成城の就業力」を身に付けていくことを目指している。そして、このキャリア教育は、本学の「澤柳教育」をベースとして構築しており、学生の個性を大切に育み、自分の信じる道を自分で開いていく「独立独行」の人を育てることこそ、真のキャリア教育であると考えている。

3 キャリアセンターについて

成城大学は、平成27年度よりキャリア教育、キャリア支援、そして、就職活動支援を総合的に担当する組織として「キャリアセンター」を設置した。これまで培ってきた「就職活動支援」に、「キャリア支援」「キャリア教育」を加え、有機的な連携を展開・実現することで、学生の総合的な「キャリア形成」支援を担う組織である。

入学時、学生はキャリアセンターが主催する「キャリアガイダンス」からスタートし、自身の大学におけるキャ

リア形成を考えるスタートを切ることとなる。こうした入学時点から自身のキャリアを考える機会を提供すること、学生は自ら考え行動することを意識し、キャリア教育の授業を受講する者、資格取得に励む者、将来を見据えて具体的な行動を起こす者など、それぞれの「キャリア」を歩み始めるが、その際、キャリアセンターは様々なケースやパターンに対応し、サポートすることを心掛けている。

キャリアセンターは、このように成城学園の教育理念に基づいて、時世の流れを踏まえつつ、独自のキャリア教育・キャリア支援・就職活動支援を展開することで、在学生・保証人・企業（社会）・地域をはじめ、あらゆるステークホルダーの方々と良好な関係を持続的に作り上げ、社会に貢献することが出来る独立独行の精神を持った「人」の育成を目指している。

キャリア教育・キャリア支援・就職活動支援



キャリア支援
キャリアサポートプログラム
インターンシップ
講座（資格取得など）
キャリア個別相談



就職活動支援
就職個別相談
各種イベントの開催
(ex. 合同企業説明会)
講座（就職支援）



キャリア教育
就業力育成・認定プログラム
キャリアデザイン科目